

# 国道289号線の早期全線開通を願い —— R289フルコース踏破実行委員会 ——



▲フルコース踏破を誓う只見高校生ら

6月22日、只見温泉保養センターに、只見高等学校1～2年生の生徒26名と保護者や関係者が集い、R289フルコース踏破隊結団式が開かれました。

この事業は只見高校1～2年生の選抜生徒30名と保護者や先生、一般町民、只見町などで構成される「R289フルコース踏破実行委員会」が実施主体となり、選抜された只見高校生が約10kmずつ自転車やタスキリレーしながら、いわき市から新潟市までの全長約



▲目黒町長に宣誓をする三瓶志門さん(只見高1年)

32.5kmの国道289号を踏破しようという壮大な計画の事業です。途中、只見町から三条市までの八十里越約25kmは徒歩で踏破します。

この事業の実施により、国道289号の早期全線開通と、只見町はじめ奥会津と新潟県との地域交流がさらに促進されることを期待したいと思えます。

踏破が行われる日程は、7月24日、25日、31日、8月1日の4日間となります。目標が達成されるよう、皆さん応援してくださいね。



▲マラソン部門で元気にスタートする参加者

時おり初夏の太陽が顔をのぞかせるなか、6月20日に只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会が行われました。

宮淵公園をスタート、ゴール地点に、マラソン部門とウォーキング部門にエントリーした132名が思い思いのペースで一周4.2kmの只見湖周辺のコースを走ったり歩いたりして、自分の体力を確かめていました。

この日は気温も上昇し、暑い日でしたが参加者は、只見湖や深緑が映える周囲の山々を眺め

ながら、楽しく汗を流し全員が完走、完歩しました。

マラソン部門の優勝者は、▽2km・吉津遙くん(黒谷)▽4.2km・目黒大成さん(只見)▽8.4km・矢沢裕也さん(二軒在家)▽2km親子ペア・目黒佳祐くん/良二さん(熊倉)でした。ウォーキング部門では、あらかじめ設定された6020歩に一番近い6030歩で歩いた目黒ツヤ子さん(只見)がピタタンコ賞となりました。

初夏の日差しを浴びて健康づくり  
**只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会**

ニュースポーツで爽快な汗

## キンボール交流会 ～Let's オムニキン～

6月13日、町下町民体育館でキンボール交流会が行われ、25名が参加しました。

キンボールとは、4人1チームの3チームで、ヒットやレシーブを繰り返す、カナダ生まれのニュースポーツです。ヒットするチームにコールされたチームは床にボールが落ちる前にレシーブしなければいけません。レシーブに失敗すると、他の2チームに1点ずつ得点が加算されます。

参加者からは、初めてだったが、やりやすいスポーツで楽しく体を動かすことができた。年齢や性別に関係なく、気軽にどの年代もできるスポーツだったので良かった。全く知らない方も含め、いろんな方と交流することができて良かった。などと感想が聞かれました。

キンボールは、まだあまり知られていませんが、誰にでも、体力差など関係なく取り組めるスポーツです。ぜひ、皆さんも挑戦してみてください。



▲ただみコミュニティクラブが主催



## ブナセンター講座

## 第3回ブナセンター講座

## 木工クラフト教室

6月19日に、第3回ブナセンター講座「木工クラフト」がただみ・ブナと川のミュージアム内の、てわっさ工房で開かれました。参加者は、上町、原地区子ども会を中心にした親子40人。ボランティア講師の指導のもとで、小学生は小刀で小枝を削って鉛筆型のアクセサリを作り、小さな子どもたちは木片を貼りあわせてアンパンマンの顔を作りました。課題を終えたあとは、子どもも大人も一緒になって、小枝やドングリ、松ぼっくりなどを自由に組み合わせて、ウサギやクマなど、思い思いの作品を仕上げていました。

はじめは緊張していた子どもたちも一つ、二つ作品を仕上げるごとに、発想が伸び伸びと豊かになり、目を輝かせて作業に集中していました。



▲完成した作品を手に喜びの参加者

## 第4回ブナセンター講座

## 坪田和人さん講演「只見のブナの魅力」

6月26日、第4回ブナセンター講座「只見のブナの魅力」が、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれました。

講師は、全国530カ所のブナ林をたずね歩いた坪田和人さん。「ブナの山旅」という著書のなかで、只見町の沼ノ平のブナ林を絶賛されています。

参加者は26名で、皆さん坪田さんのブナへの思いに耳を傾けていました。



▲ブナ林の魅力を再認識する参加者